

明治安田生命と島根県との包括連携協定に基づく 認知症に関する意識調査

明治安田生命



島根県

Shimane Prefectural Government



令和5年3月

島根県高齢者福祉課
地域包括ケア推進室

1 調査概要

調査目的

- ・ 県民の認知症に対する意識の現状把握
- ・ 調査結果を踏まえた認知症施策の検討

調査時期

令和4年4月1日～令和5年2月28日

調査方法

明治安田生命社員による調査票の持参・回収

調査対象

明治安田生命の顧客及び顧客候補

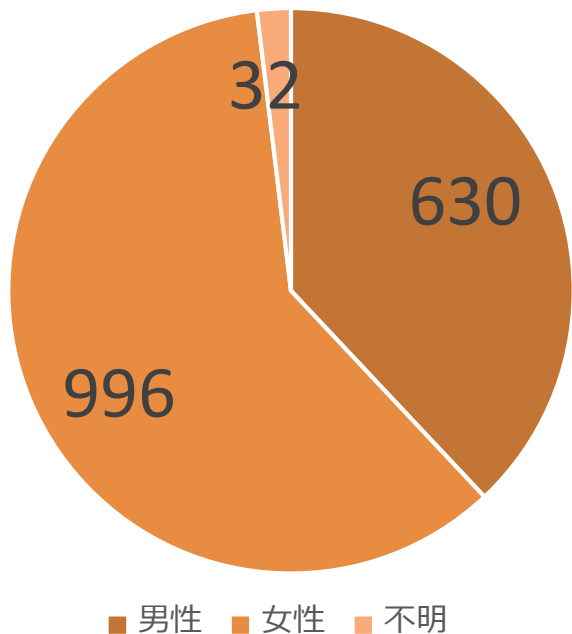
回答者数

1,658名

2 回答者（性別・年代）

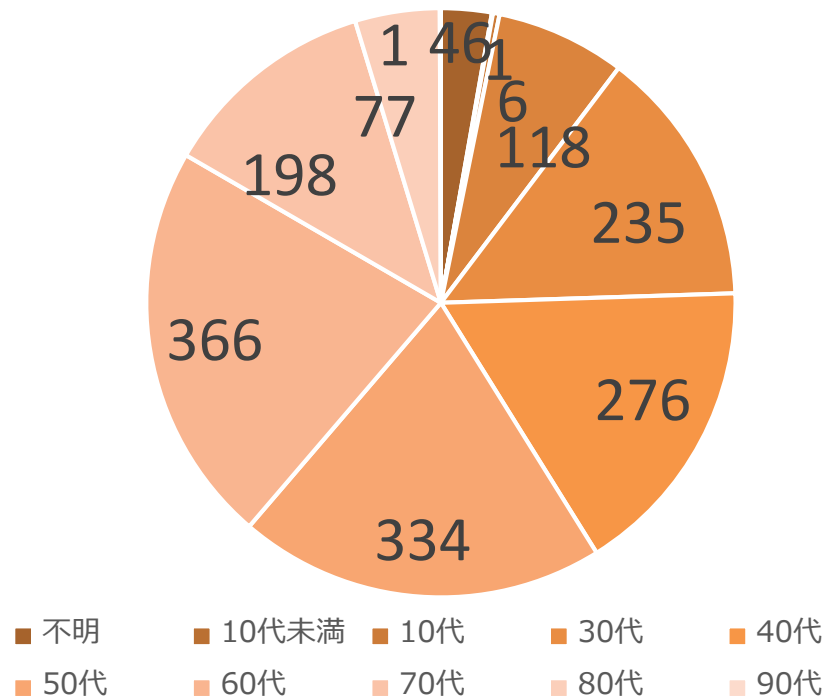
性別

男性：630名
女性：996名
不明：32名



年代

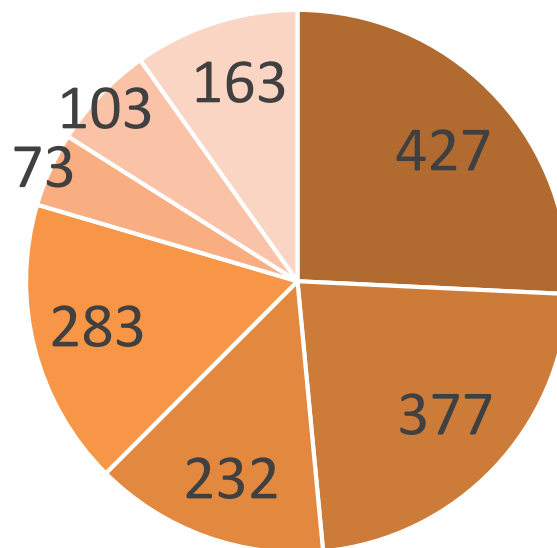
不明：46名、10代未満：1名、10代：6名、
20代：118名、30代：235名、40代：276名、
50代：334名、60代：366名、70代：198名、
80代：77名、90代：1名



2 回答者（エリア別）

エリア（営業拠点）別の回答者数

・木次	：427名
・松江南	：377名
・松江北	：232名
・出雲	：283名
・石見大田	：73名
・江津	：103名
・浜田	：163名



■ 木次 ■ 松江南 ■ 松江北 ■ 石見大田 ■ 江津 ■ 浜田

- ※ 木次：雲南市、奥出雲町、飯南町
- ※ 松江南：松江市内南東部（旧八雲村・玉湯町・宍道町含む）、安来市
- ※ 松江北：松江市内北西部（旧八束町・島根町・美保関町含む）、隠岐郡
- ※ 出雲：出雲市
- ※ 石見大田：大田市
- ※ 江津：江津市、邑智郡
- ※ 浜田：浜田市、益田市、鹿足郡

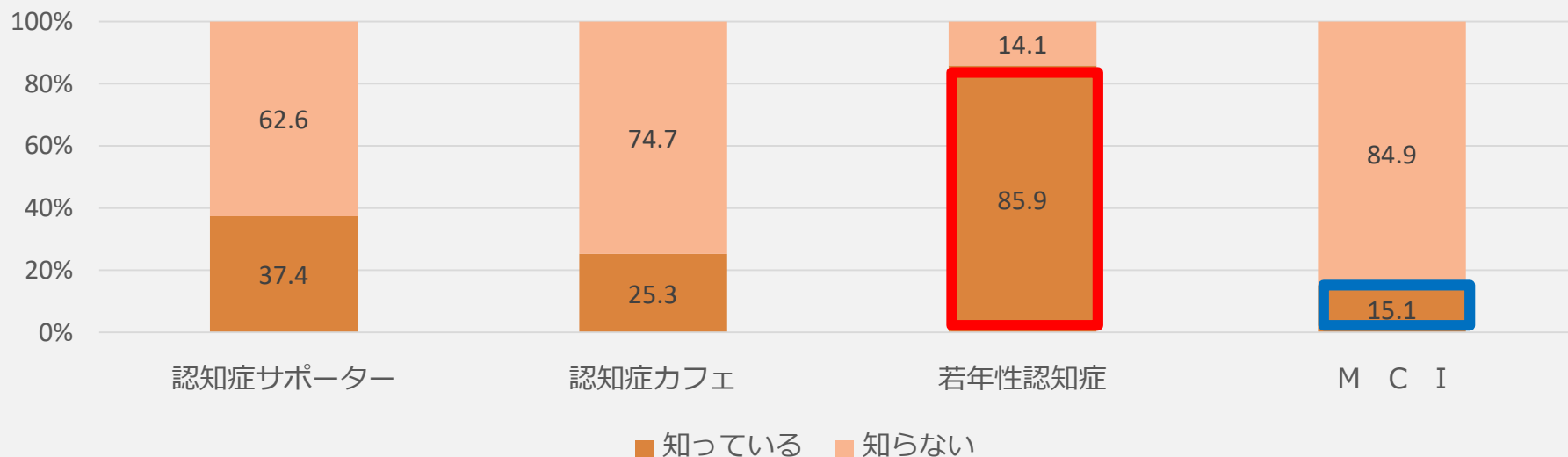
3 調査項目（1）

認知症に関する次の言葉はご存じですか？

「知っている」と答えた割合

(対前年比)

①認知症サポーター	37.4%	(+5.8%)
②認知症カフェ (オレンジカフェ)	25.3%	(+4.7%)
③若年性認知症	85.9%	(+7.8%)
④M C I	15.1%	(▲1.3%)

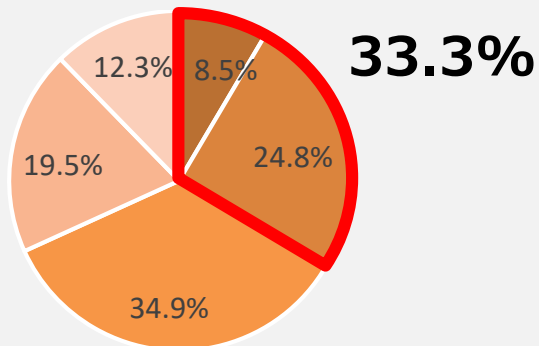


3 調査項目（2）

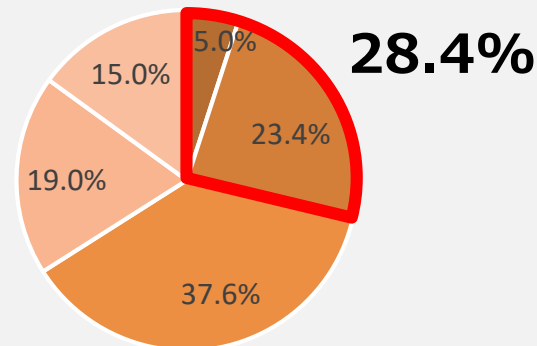
認知症に対して、どんなイメージを持っていますか？
1つだけお答えください

	(対前年比)
□ 自分で工夫しながら、 <u>今まで暮らしてきた地域で生活ができる</u>	8.5% (+3.5%)
□ 医療・介護などのサポートを利用しながら、 <u>今まで暮らしてきた地域で生活ができる</u>	24.8% (+1.4%)
□ 身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートが必要となる	34.9% (▲2.7%)
□ 周りの人に迷惑をかけ、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる	19.5% (+0.5%)
□ 症状が進行していき、何もできなくなってしまう	12.3% (▲2.7%)

R4年度



R3年度



■ 自分で工夫しながら…
 ■ サポートを利用しながら…
 ■ 介護施設に入って…
 ■ 周りの人に迷惑をかけ…
 ■ 症状が進行…

3 調査項目（2）

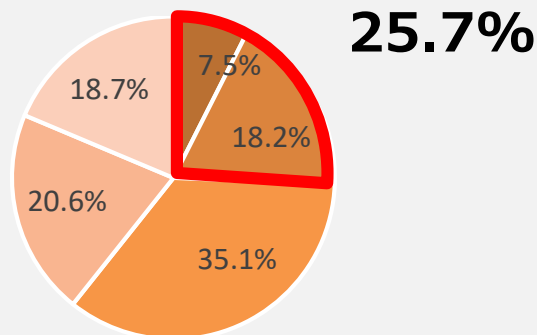
認知症に対して、どんなイメージを持っていますか？

1つだけお答えください

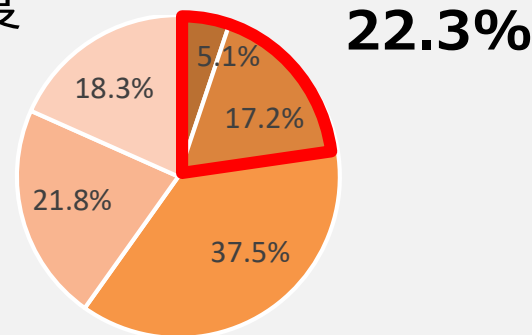
※ 認知症の人と接したことがないと答えた人のみ

	(対前年比)
□ 自分で工夫しながら、 <u>今まで暮らしてきた地域で生活ができる</u>	7.5% (+2.4%)
□ 医療・介護などのサポートを利用しながら、 <u>今まで暮らしてきた地域で生活ができる</u>	18.2% (+1.0%)
□ 身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートが必要となる	35.1% (▲2.4%)
□ 周りの人に迷惑をかけ、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる	20.6% (▲1.2%)
□ 症状が進行していき、何もできなくなってしまう	18.7% (+0.4%)

R4年度



R3年度

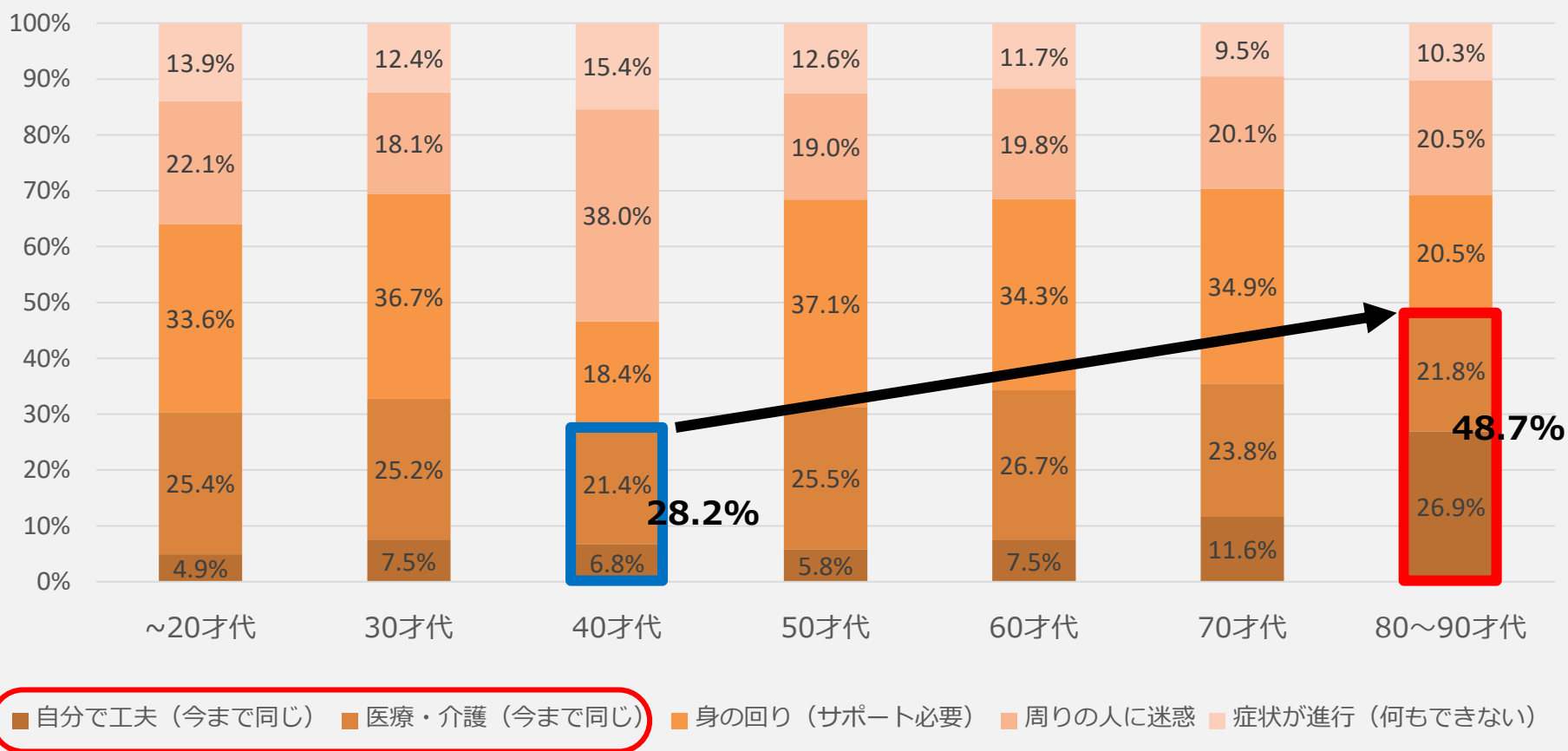


■ 自分で工夫しながら... ■ サポートを利用しながら... ■ 介護施設に入って... ■ 周りの人に迷惑をかけ... ■ 症状が進行...

3 調査項目（2）

認知症に対して、どんなイメージを持っていますか？
1つだけお答えください

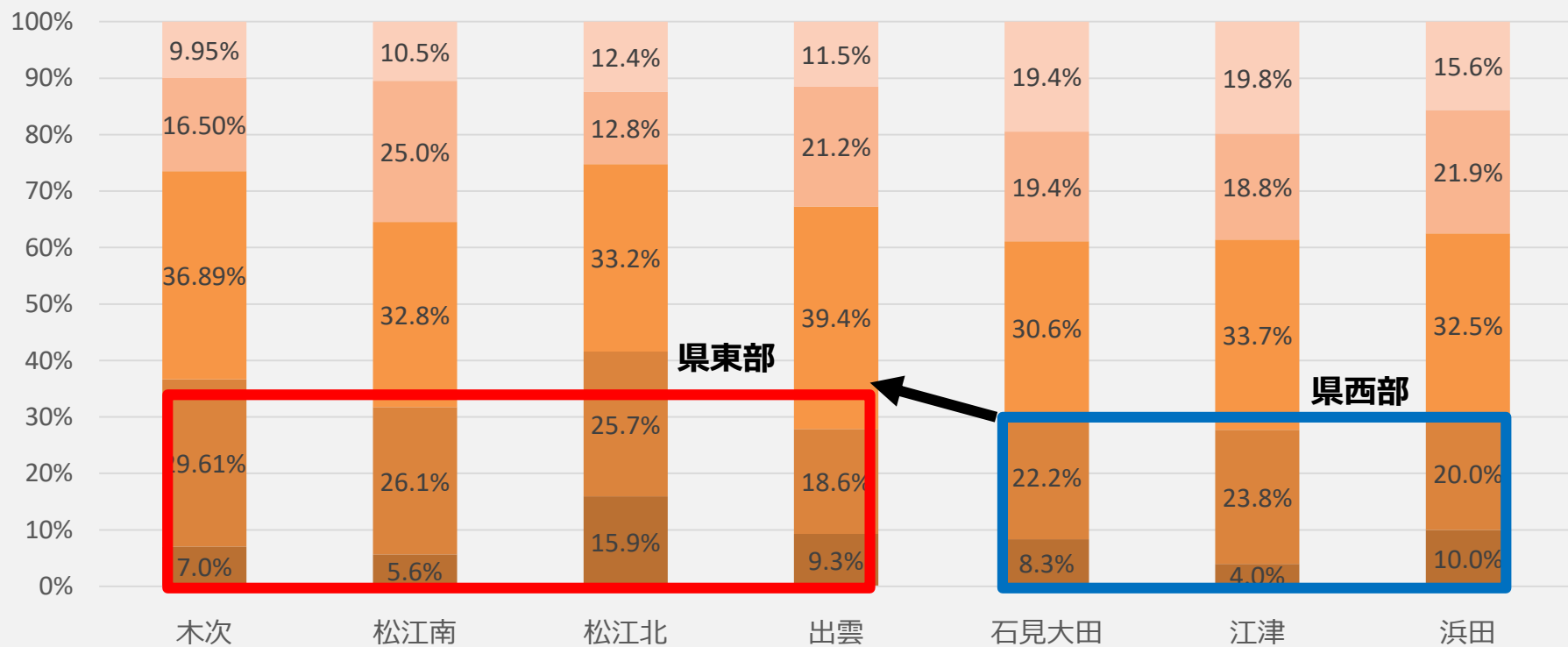
認知症に対するイメージ（年代別）



3 調査項目（2）

認知症に対して、どんなイメージを持っていますか？
1つだけお答えください

認知症に対するイメージ（エリア別）



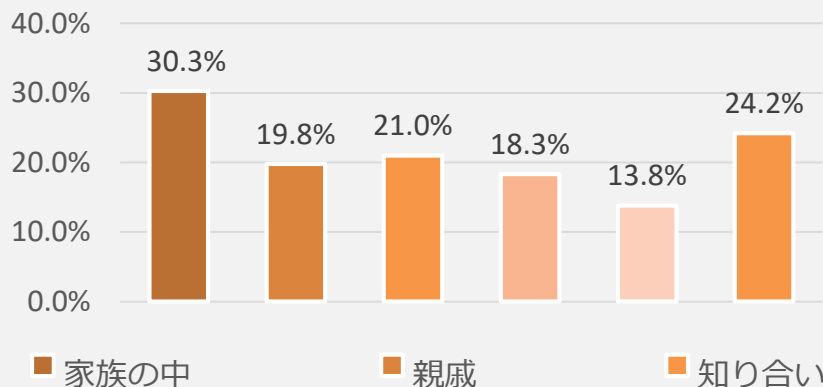
■ 自分で工夫（今まで同じ） ■ 医療・介護（今まで同じ） ■ 身の回り（サポート必要） ■ 周りの人に迷惑 ■ 症状が進行（何もできない）

3 調査項目（3）

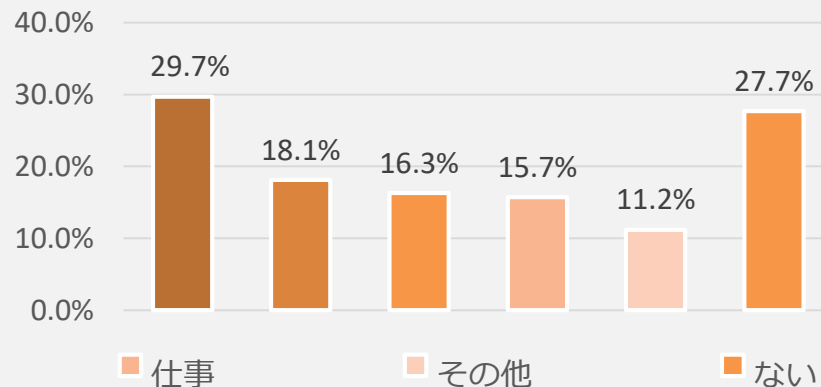
今までに認知症の人と接したことがありますか？
(複数回答可)

	(対前年比)
□ 家族の中に認知症の人がいる(いた)	30.3% (+0.6%)
□ 親戚の中に認知症の人がいる(いた)	19.8% (+1.7%)
□ 知り合いや友人に認知症の人がいる(いた)	21.0% (+4.7%)
□ 仕事を通じて接したことがある	18.3% (+2.6%)
□ その他の場面で接したことがある	13.8% (+2.6%)
□ 接したことがない	24.2% (▲3.5%)

R4年度



R3年度

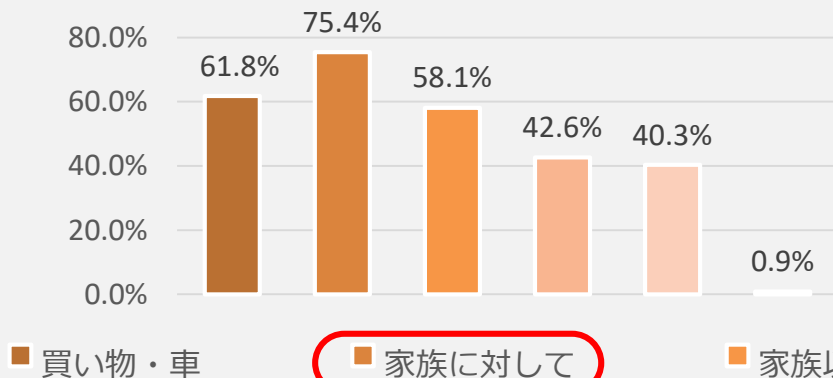


3 調査項目（4）

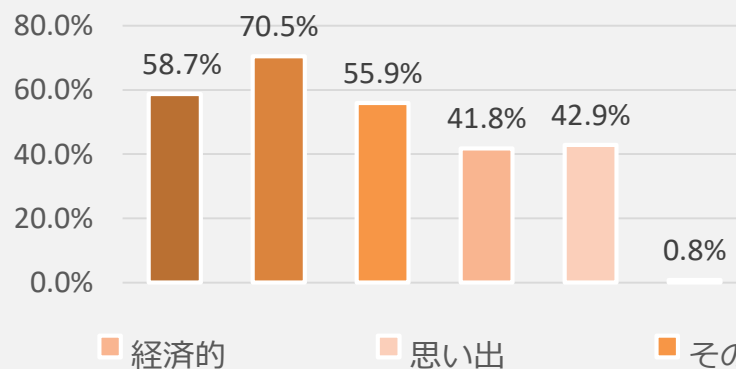
ご自身が認知症になったら、
どのようなことを不安に感じるとお思いますか？（複数回答可）

	(対前年比)
□ 買い物や車の運転など、これまで出来ていたことができなくなるのではないかと	61.8% (+3.1%)
□ 家族に身体的・精神的な負担をかけるのではないかと	75.4% (+4.9%)
□ 家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないかと	58.1% (+2.2%)
□ 経済的に苦しくなるのではないかと	42.6% (+0.8%)
□ 家族や、大切な思い出を忘れてしまうのではないかと	40.3% (▲2.6%)
□ その他	0.9% (+0.1%)

R4年度



R3年度

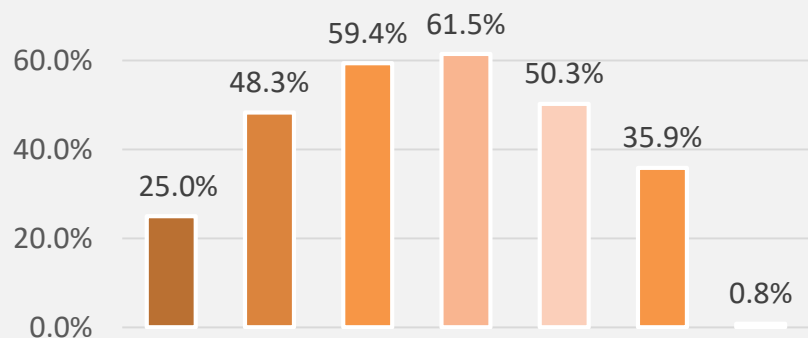


3 調査項目（5）

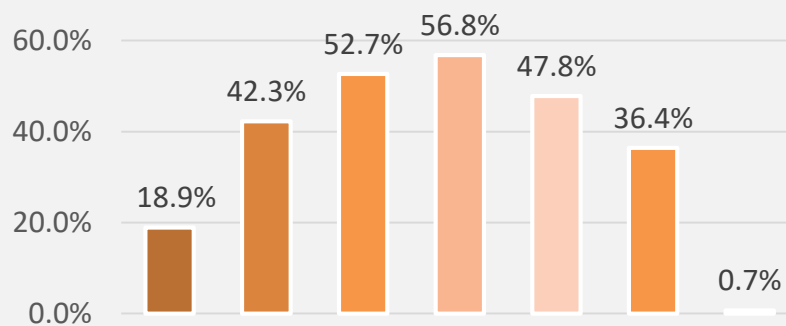
認知症について県や市町村がどのようなことに重点をおくべきだと思いますか？（複数回答可）

	(対前年比)
□ 普及啓発や情報提供	25.0% (+6.1%)
□ 相談窓口・体制の充実	48.3% (+6.0%)
□ 早い段階から利用できる医療や介護などのしくみづくり	59.4% (+6.7%)
□ 家族の身体的・精神的な負担を減らす取り組み	61.5% (+4.7%)
□ 認知症の人が利用できる介護施設の充実	50.3% (+2.5%)
□ 仕事と介護の両立支援を含めた経済的負担を減らす取組	35.9% (▲0.5%)
□ その他	0.8% (+0.1%)

R4年度



R3年度



■ 普及・情報提供 ■ 相談窓口の充実 ■ 医療・介護の仕組みづくり ■ 家族の負担軽減 ■ 介護施設の充実 ■ 経済的負担の軽減 ■ その他

4 考察（まとめ）

- ◆ 認知症サポーター、認知症カフェ、若年性認知症の認知度は、それぞれ+5.8%、+4.7%、+7.8%高まったが、MCI（軽度認知障害）の認知度は15.1%（対前年比▲1.3%）と低い。
- ◆ 認知症に対するイメージは、「今まで暮らしてきた地域で生活ができる」と答えた割合は33.3%に留まった。年代別では、70代~90代が48.7%と最も高く、働き盛りの世代である40代が最も低い(28.2%)。
- ◆ 「認知症の人と接したことがない」と答えた人に限ると「今まで暮らしてきた地域で生活ができる」と答えた割合は25.7%に留まったが、対前年比で+3.4%高まった。
- ◆ エリア別では、県西部よりも県東部（隠岐含む）の方が「今まで暮らしてきた地域で生活できる」と答えた割合が高い。
- ◆ 「今までに認知症の人と接したことがある」と答えた割合は「家族」「親族」「知人」「仕事」「その他」の全ての項目において高まった。
- ◆ 「認知症になったら、どんなことが不安か」については、「家族に負担をかける」が最も多い75.4%（対前年比+4.9%）。
- ◆ 「県や市町村が重点をおくべきこと」についても、「家族の身体的・精神的な負担を減らす取り組み」が最も多い、61.5%（対前年比+4.7%）。
- ◆ 以上のことから、特に働き盛りの世代を対象に普及啓発や情報提供を実施するとともに、相談窓口の周知や医療・介護の連携体制の整備など、本人・家族の不安や負担を軽減する施策が求められる。
- ◆ 本調査は今後も継続し、県民の認知症に対する意識が経年でどのように変化するか把握する。